令和3年 7月「月 報」

1 はじめに

政府は、4月25日から発令していた3回目の緊急事態宣言を、6月20日をもって 沖縄県を除く9都道府県で解除し、東京都をはじめとする7都道府県は、「まん延防止 等重点措置」に移行しました。

一方、65歳以上の高齢者へのワクチン接種については、政府及び各自治体の積極的な取り組みや防衛省・自衛隊による東京・大阪の大規模接種センターでの後押しもあり、かなりのスピードで進展(6月30日現在、全国65歳以上の1回目接種率:60.3%2回目接種率:26.5%)しそうな状況にあります。

また、中山防衛副大臣は、6月29日から全国の自衛隊病院や大規模な基地・駐屯地の医務室で職場接種を行う方針を示しました。接種の対象者は、東京五輪・パラリンピックの警備、救護に当たる隊員や災害派遣隊員を優先するようです。

更に、高齢者以外の18歳以上の国民へのワクチン接種も、東京・大阪の大規模接種 センターではすでに開始され、各自治体においても逐次開始される模様です。

多くの国民のへのワクチン接種が進めば、新型コロナウイルスの感染拡大も一定の収 東が期待でき、7月23日からの東京オリンピック、8月の東京パラリンピックも無事 に開催されることでしょう。

東京オリンピックへ出場する自衛隊体育学校所属の自衛官アスリート達の活躍を、本会挙げて応援しましょう。

2 防衛省・自衛隊の活動

(1) 令和3年度全国自衛隊地方協力本部長会議

6月21日、令和3年度の全国自衛隊地方協力本部長会議が、新型コロナウイルス感染症を考慮して昨年に引き続きTV会議形式で行われました。ここ数年は厳しい募集環境が続いていますが、令和2年度の一般曹候補生及び自衛官候補生の募集・採用については、2年連続目標を達成しました。採用数は、合計で約1万3千人となっています。



全国地本長会議風景

陸幕は、募集目標の達成のためは、自衛官候補生の処遇改善、自衛官候補生のWeb試験実施及びオンラインを活用した採用広報の強化等を実施すると共に、各地本の地道な募集活動とそれを支援する本会をはじめとする各種支援団体の功績が大きいとしています。

当日、表彰された地本は次のとおりです。また、38人の広報官が、優秀広報官として陸幕長より表彰を受けました。

	北方	東北方	東方	中方	西方	計
第1級賞状		福島	神奈川	愛知	福岡	4
第2級賞状	旭川	岩手	茨城・新潟	滋賀・京都・兵庫	熊本	1 4
			山梨・静岡	和歌山・広島・高知	鹿児島	

(2) 東京五輪壮行行事(自衛隊体育学校)

6月28日、豊田自衛隊体育学校長主催の東京五輪壮行行事が、朝霞駐屯地体育館

で行われ、本会から、伊藤会長及び土谷事務局長が参加しました。

協力団体の先陣を切って、伊藤会長が選手たちへの熱い激励の言葉を述べました。

自衛隊員の東京オリンピック参加選手は、 前回のリオデジャネイロ・オリンピックを 上回る次の16名となりました。

当日は、合宿等で欠席した5名を除く11 名の選手が参加しました。



壇上に整列し激励を受ける選手たち

- ① 乙黒 圭祐 3等陸尉(レスリング、山梨県出身)
- ② 乙黒 拓斗 2等陸曹 (レスリング、山梨県出身)
- ③ 成松 大介 1等陸尉(ボクシング・ライト級、熊本県出身)
- ④ 森脇 唯人 3等陸曹(ボクシング・ミドル級、東京都出身)
- ⑤ 並木 月海 3等陸曹(女子ボクシング・フライ級・千葉県出身)
- ⑥ 濱田 尚理 2等陸尉(女子柔道、鹿児島県出身)
- ⑦ 松本 崇志 1等陸尉 (ライフル射撃、長崎県出身)
- ⑧ 山田 聡子 3等陸曹 (ピストル射撃、滋賀県出身)
- ⑨ 岩本 勝平 3等陸曹(近代五種、鹿児島県出身)
- ⑩ 島津 玲奈 3等陸曹(近代五種、熊本県出身)
- ⑪ 山田 優 3等陸尉(フェンシング、三重県出身)
- ⑩ 藤島 大規 2等陸曹(カヌースプリント、山梨県出身)
- ③ 松下桃太郎 3等陸曹(カヌースプリント、石川県出身)
- ④ 髙橋航太郎 2等陸曹(競泳、静岡県出身)
- ⑤ 勝木 隼人 3等陸尉(男子50km競歩、福岡県出身)
- ⑥ 梶木 真凛 3等陸曹(女子7人制ラグビー、福岡県出身)

3 家族会の活動

(1) 令和3年度定期総会日時の変更に係る第2回理事会(書面決議)結果

6月7日、本会は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、総会日時を令和3年6月 15日(火)から同年10月13日(水)へ変更する議案を、第2回理事会(書面決議) に諮り、理事全員の同意と監事2名の異議なく、決議しました。

(2)「入隊予定者に係る個人情報の取り扱い」に関する協定締結(長崎県家族会)

6月23日、浦田長崎県家族会長は、長崎地方協力本部長(西田洋一郎1等海佐)との間において、「入隊予定者に係る個人情報の取り扱い」に関する協定書を締結しました。神奈川県家族会に次いで、全国で2例目となります。

本協定締結の背景として、会員獲得のチャンスである入隊・入校予定者激励会が、この2年間、コロナウィルス感染症対策のため県内各地区で中止が相次ぎ、会員の減少に 歯止めがかからない状況が続いていることにあります。

県家族会として、会員減少を何とか食い止めるための施策をいろいろと模索してきましたが、現状では入隊希望者の個人情報の取得が難しく会員拡大を図ることが期待できない状況です。

それを打開すべく県家族会として、以前から神奈川県家族会の取り組みに注目して

おり、杉田同県事務局長の協力を得ながら、長崎 地本担当者と協議を進めた結果、今回協定締結の 運びとなりました。

今後の課題としては、募集実務を担当する各地 域事務所、出張所の広報官と緊密に連絡を取り、 いかにして会員拡大へ繋げていくかが求められて います。



協定書締結後の記念撮影

(3) 第16次派遣海賊対象行動支援隊への激励(栃木県家族会)

6月25日、小泉栃木県家族会会長は、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処の ため派遣される第16次派遣海賊対象行動支援隊(隊長:富田亘3等陸佐)への本会か らの慰問・激励を担任しました。

当日は、小泉栃木県家族会会長と國井宮子宇都 宮北自衛隊家族会会長が、中央即応連隊(宇都宮 駐屯地)を訪問し、富田隊長へ本会からの激励品 を贈呈するとともに、栃木県及び宇都宮北・宇都 宮南の各自衛隊家族会からの激励品も贈呈し、任



務達成と無事の帰国をお祈りしました。 **富田行動支援隊長(中央)へ激励品を贈呈**

(4) 東京・大阪大規模接種センター派遣隊員への慰問・激励(沖縄県自衛隊家族会)

6月1日、古門沖縄県家族会会長及び氏家同事務局長が、那覇駐屯地所在の第15後方支援 隊隊長(伊高賢1等陸佐)を表敬訪問し、大規 模接種センターに派遣されている隊員への慰問 ・激励を行いました。

同後方支援隊からは、毎月2名交代で計6名の要員が派遣される予定であり、古門沖縄県家族会会長は、「派遣隊員は、身体に気を付けて国民のために頑張ってください」との激励の言葉を添えて、伊高支援隊長へ激励品を贈呈しました。



伊高後方支援隊長へ激励品を贈呈

(5) 第39次派遣海賊対処行動水上部隊の護衛艦「ゆうぎり」艦長からの礼状紹介

6月12日に横須賀港を出港した、護衛艦「ゆうぎり」艦長の熊代威2等海佐から本会会長宛ての礼状が届きましたので、紹介します。

護衛艦「ゆうぎり」には、5月25日に、小松神奈川県家族会長が、本会の「自衛隊 の活動支援基金」による慰問・激励品を贈呈していました。

謹啓

初夏の候、伊藤康成様はじめ自衛隊家族会の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお 慶び申し上げます。

既報道のとおり第39次派遣海賊対処行動水上部隊を拝命し、去る6月12(土)に横須賀から出港し、一路西航しております。

この度は、お心のこもった激励の品をご恵贈賜り、誠にありがとうございます。ご芳情のほど、護衛艦「ゆうぎり」乗員一同を代表して厚くお礼申し上げます。

日本に届けられる資源や物資の海上交通の安全確保に邁進し、国民の皆様の生活に貢献するため微力を尽くす所存です。

ワクチン接種により新型コロナ・ウイルス感染症も収束の兆しが見えてまいりましたが、 どうぞご自愛専一にてお過ごしください。

今後とも、海上自衛隊への変わらぬ御理解と温かいご支援を頂けましたら幸いです。

令和3年6月吉日 於 洋上

護衛艦「ゆうぎり」艦長 2等海佐 熊代 威

謹白

(6)第39次派遣海賊対処行動水上部隊の護衛艦「ゆうぎり」の見送り

6月12日、護衛艦「ゆうぎり」が海賊対処行動任務のため、横須賀基地から出港

する際、神奈川県自衛隊家族会横浜中央地区会の栗木真理子理事ほか多数の家族会員が、ヴェルニー公園から見送りました。

コロナ禍のため、家族会員も出国行事や出港 に立ち会えない状況の中、ヴェルニー公園に は留守を守る家族(子どもを含む)が集まり、 スマートフォンのテレビ電話越しに「パパ、 いってらっしゃい」と別れを惜しむ風景があ ちこちで見られました。



「ゆうぎり」を見送る家族会員

(7) コロナ禍で活動する自衛隊を激励(伊丹自衛隊家族会)

6月7日、高木伊丹自衛隊家族会会長は、コロナ禍の中、「中部方面隊が計画する協同転地演習」参加の陸自第36 普通科連隊(連隊長伊藤博幸1等陸佐)及び中部方面音楽隊 (隊長柴田昌宜2等陸佐)を訪問しました。

昨年来各種公開イベントや駐屯地行事が中止となり、また 感染防止の観点から部外団体の部隊訪問も制限され、伊丹自 衛隊家族会の応援活動もフェイスブックなどのSNSを活用 したものに限られていました。

そのような中、高木会長が、直接連隊長にお会いし、訓練 参加全隊員の活躍と安全を祈念しつつ、激励品を贈呈しまし



伊藤第36普連長を激励する高木会長

(8) 新入隊員激励

た。

ア 自衛官候補生の25km行進訓練を激励(福知山自衛隊家族会)

6月3日、福知山自衛隊家族会(衣川莞爾会長)は、第7普通科連隊(連隊長小野田宏樹1等陸佐)の自衛官候補生25Km行進訓練を激励しました。

例年は、隊員家族が経路沿いに並び激励していましたが、コロナ感染対策のため、 今年は、衣川会長と2名の副会長の3名のみで激励しました。

大休止点において、候補生達を家族会の 拍手で出迎え、冷えたドリンクを差し入れす ると、候補生達は故郷の親を思い浮かべたか のように一気に美味しく飲み干しました。

衣川会長は、候補生達を前に「今は苦しいけれど、これをじっとこらえてゆくのが男の修行である」との山本五十六元帥の言葉を引用し、残りの教育を頑張って欲しいと声援を送りました。



衣川会長以下で冷えたドリンク提供

イ 自衛官候補生の25km行進訓練を激励(滋賀県家族会)

6月9日、滋賀県家族会(福井順一会長)は、陸自今津駐屯地(司令足立賢一2等 陸佐)の自衛官候補生25Km行進訓練を40名の会員により激励しました。

滋賀県家族会は、コロナ禍での会の活動を少しずつ活発化させようと考え、その第1歩として、自衛官候補生の行進途中10km地点で一列になって新入隊員へ激励の拍手を送り、また休憩場所ではゼリーやスポーツドリンクの差し入れを行い、疲労した隊員達を激励しました。

夏日のような照り返しがきつく行進訓練に は過酷な条件下の訓練において、新入隊員の 家族会員は、わが子のたくましい姿に感激す るとともに、実際の激励活動参加により会員 相互の親睦を図ることができ、充実した1日 となりました。



密を避け間隔を空け激励の拍手

ウ 新隊員教育隊25km行進訓練の激励(新潟県家族会)

6月11日、新潟県家族会上越地区会(横澤順二会長)及び長岡地区会(室橋功会長)は、関山演習場で実施された新隊員教育隊25km行進訓練を新潟地本高田地域事務所(所長:古川敏廣2等陸尉)とともに激励しました。

当日は、約20名の家族会員が激励に参加し、行進訓練を歩ききった新隊員と家族が久しぶりに対面、訓練の達成感を分かち合うとともに、立派に成長したわが子たちの姿を誇りに感じました。



幟を立て、ビブス着用で激励する会員



わが子の成長に安堵のご家族

(9) コロナ禍での家族会活動スナップ

総会開催



浜松市天竜自衛隊家族会 (小出修道会長)

総会での表彰受賞記念撮影



神奈川県自衛隊家族会 (小松龍也会長)